

2020年11月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年4月10日

上場会社名 株式会社ティムコ
 コード番号 7501 URL <https://www.tiemco.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 誠一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 中山 芳忠

TEL 03-5600-0122

四半期報告書提出予定日 2020年4月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第1四半期の業績(2019年12月1日～2020年2月29日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第1四半期	622	9.1	51		49		55	
2019年11月期第1四半期	684	2.1	5		3		14	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第1四半期	22.35	
2019年11月期第1四半期	5.81	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年11月期第1四半期	5,708	4,688	82.1	1,893.20
2019年11月期	5,790	4,776	82.5	1,928.86

(参考)自己資本 2020年11月期第1四半期 4,688百万円 2019年11月期 4,776百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期		0.00		12.00	12.00
2020年11月期					
2020年11月期(予想)		0.00		12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年11月期の業績予想(2019年12月1日～2020年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,221	10.1	42		48		30		12.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年11月期1Q	3,339,995 株	2019年11月期	3,339,995 株
期末自己株式数	2020年11月期1Q	863,445 株	2019年11月期	863,445 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年11月期1Q	2,476,550 株	2019年11月期1Q	2,476,550 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は、[添付資料]P3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(自2019年12月1日 至2020年2月29日)における日本経済は、2019年末に中華人民共和国湖北省武漢市を中心に発生した新型コロナウイルスの感染拡大により、中国経済を中心とした世界経済の大幅な減速や消費税増税の影響などによる消費の落ち込みを受け、多くの業種で景況感が悪化する形となりました。個人消費は、供給が不足した日用品など一部の業態で改善が見られるものの、暖冬の影響や外出の自粛、訪日観光客のインバウンド需要の激減などにより、百貨店業態や宿泊・飲食サービス、衣料品販売などの景況感は大きく落ち込むこととなりました。

当社の関連するアウトドア関連産業においては、釣用品市場、アウトドア衣料品市場とも、これらの影響を受け、消費の力強さを欠く展開となりました。

このような状況の中、当社では収益増加に向けた取り組みを行ってまいりましたが、折からの消費の停滞の影響を受け、当第1四半期の売上高は6億22百万円(前年同期比9.1%減)となりました。また、売上総利益の減少に連動して、営業損失は51百万円(前年同期間 営業損失5百万円)、経常損失は49百万円(前年同期間 経常損失3百万円)、四半期純損失は55百万円(前年同期間 四半期純損失 14百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(フィッシング事業)

フィッシング事業に関しては、暖冬傾向が釣行にプラスに作用し販売を底支えする展開も見られましたが、外出の手控え・新製品のプロモーションを目的としたイベントの自粛などの反動を受け、販売に力強さを欠く展開となりました。

まず、ルアー用品に関しては、販売エリア毎に適材適所のアイテムのセールスに注力したことが奏功し、売上高は堅調に推移いたしました。また、フライ用品に関しては、動画配信等のプロモーション効果により一部の新製品が好調だった一方、全般に消費が低迷し売上高は前期を割り込む結果となりました。

これらにより、当第1四半期におけるフィッシング事業の売上高は、1億64百万円(前年同期比1.2%減)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は0.9百万円(前年同期比20.5%増)となりました。

(アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、前年同時期に比べて暖冬傾向となり、ジャケット等の防寒重衣料の販売が低調に推移したことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、百貨店やショッピングセンターへの来店客の大幅な減少の影響を受けることとなり、春夏物の販売も停滞いたしました。

その結果、当第1四半期におけるアウトドア事業の売上高は4億50百万円(前年同期比11.6%減)となりました。また、売上総利益の減少に連動して、セグメント利益(営業利益)は3百万円(前年同期比92.4%減)となりました。

(その他)

その他の主な内容は、不動産賃貸収入売上であります。当第1四半期に関しては、賃貸面積の減少等により、その他売上高は6百万円(前年同期比18.1%減)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は5百万円(前年同期比21.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ82百万円減少し57億8百万円となりました。

流動資産は、季節的な影響による商品及び製品の増加1億83百万円などの一方で、現金及び預金の減少1億23百万円や受取手形及び売掛金の減少1億70百万円などの影響により、前事業年度末に比べ98百万円減少し、39億48百万円となりました。

固定資産は、有形リース資産の取得による増加12百万円やソフトウェアの増加16百万円などの一方で、有形固定資産の減価償却12百万円や長期繰延税金資産の減少2百万円などにより、前事業年度末に比べ16百万円増加し、17億59百万円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ5百万円増加し10億19百万円となりました。

流動負債は、未払消費税等の減少16百万円や未払費用の減少20百万円、未払法人税等の減少11百万円などの一方で、支払手形及び買掛金の増加31百万円や賞与引当金の増加9百万円などにより、前事業年度末に比べ7百万円減少し、7億67百万円となりました。

固定負債は、長期リース債務の増加10百万円や退職給付引当金の増加3百万円などにより、前事業年度末に比べ13百万円増加し2億52百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ88百万円減少し、46億88百万円となりました。これは主に、四半期純損失55百万円の発生や前事業年度決算の配当支出29百万円などによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

1月下旬以降の新型コロナウイルス感染症の国内における感染拡大により、百貨店やショッピングセンターの来店客数が急激に落ち込む結果となりました。加えて4月7日に発出された緊急事態宣言により、経済活動への影響が深刻化し、さらに長期化する兆しを見せております。このため未だ感染拡大の収束が見通せず、現時点ではその影響と期間を算定することが困難であります。ついては2020年1月17日に公表した「2019年11月期 決算短信」の通期の業績予想を修正せずに据え置いております。

今後、合理的な算定が可能となり、修正の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年11月30日)	当第1四半期会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,008,651	1,885,345
受取手形及び売掛金	564,497	394,429
商品	1,429,863	1,613,832
その他	46,677	57,105
貸倒引当金	△2,097	△1,912
流動資産合計	4,047,592	3,948,801
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	530,838	521,524
土地	653,376	653,376
その他(純額)	10,584	25,354
有形固定資産合計	1,194,799	1,200,256
無形固定資産	11,686	27,485
投資その他の資産	536,758	531,766
固定資産合計	1,743,244	1,759,508
資産合計	5,790,836	5,708,309
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	571,391	603,156
未払法人税等	21,741	10,519
返品調整引当金	41,615	37,486
賞与引当金	1,525	10,734
その他	138,913	105,395
流動負債合計	775,187	767,292
固定負債		
退職給付引当金	152,149	155,677
その他	86,575	96,731
固定負債合計	238,724	252,409
負債合計	1,013,912	1,019,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,861,448	3,861,448
利益剰余金	298,246	213,181
自己株式	△478,034	△478,034
株主資本合計	4,761,659	4,676,594
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,265	12,014
評価・換算差額等合計	15,265	12,014
純資産合計	4,776,924	4,688,608
負債純資産合計	5,790,836	5,708,309

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年12月1日 至2019年2月28日)	当第1四半期累計期間 (自2019年12月1日 至2020年2月29日)
売上高	684,370	622,038
売上原価	376,916	349,044
売上総利益	307,454	272,994
返品調整引当金戻入額	32,533	41,615
返品調整引当金繰入額	12,761	37,486
差引売上総利益	327,226	277,123
販売費及び一般管理費	332,319	328,713
営業損失(△)	△5,092	△51,589
営業外収益		
受取利息	406	484
受取配当金	637	696
為替差益	-	705
その他	194	155
営業外収益合計	1,238	2,041
営業外費用		
為替差損	130	-
その他	5	10
営業外費用合計	135	10
経常損失(△)	△3,990	△49,559
特別損失		
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	-
税引前四半期純損失(△)	△3,990	△49,559
法人税、住民税及び事業税	3,923	3,695
法人税等調整額	6,464	2,091
法人税等合計	10,387	5,787
四半期純損失(△)	△14,377	△55,346

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	合計 (注)3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	166,675	509,511	676,187	8,182	—	684,370
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	166,675	509,511	676,187	8,182	—	684,370
セグメント利益又は損失(△)	825	48,946	49,771	6,981	△61,846	△5,092

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△61,846千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。

II 当第1四半期累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	合計 (注)3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	164,679	450,658	615,337	6,701	—	622,038
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	164,679	450,658	615,337	6,701	—	622,038
セグメント利益又は損失(△)	994	3,717	4,711	5,517	△61,819	△51,589

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△61,819千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。